

和歌山県立きのかわ支援学校 学校運営協議会

令和3年度 第1回【 6月22日（火）】

出席者：委員10名、傍聴人4名

議題

- ①本年度の学校運営方針の説明及び承認
 - ・本年度の重点目標の説明
- ②進路状況について
- ③本年度の主な活動について(地域との連携・協働の取組)

議論した主な内容

- ①学校要覧と学校評価シートを使って本年度の学校運営方針を説明
1.安心安全な学校づくり 2.特別支援教育の専門性及び授業力の向上 3.つきたい力を踏まえての指導内容、教育課程の改善を3つの重点目標とすることを説明し、委員の皆様へ承認していただいた。
- ③本年度の主な活動について
本校における主な地域との連携・協働の取組を学部別に説明を行った。その中で高等部が7月28日に高野口共育コミュニティとの連携で行う「高野口マルシェ」について意義や課題点について議論された。この活動は今後も広げていく予定だが、第1回目のねらいとして“地域にある支援学校を知ってもらうための販売実習”であることを押さえ、まずは経験し、その反省を次に活かしていくようにすることが大切だということが話し合われた。

協議で出された意見等

Q :学習支援ボランティアや、ふるさと教育・キャリア教育のゲストティーチャーなどどのように依頼したらいいか

A

- ・ 振興局に相談すると漬物、お菓子、梅干し作りなどのいろいろなボランティアの方を紹介してくれる。
- ・ 紀北農芸高校なら教職員が正月の寄せ植えや高野学の講師として派遣ができる。
- ・ 公民館との連携では55個のサークルがあり、依頼があれば紹介してもらえる。
- ・ 人権の花運動などのボランティアにはPTAも一緒に参加していくとよいのでは。
- ・ キャリア教育として企業を知ったり、支援学校の取組を知ってもらうためには、ハローワークとの連携や地域の企業を数社集めて企業説明会などをするのもいいのではないかと。
- ・ 障害者の法定雇用率もアップしていることもあり、企業への見学も積極的に行うことが大切

